

## ～東日本大震災から10年～

### 鼠ヶ関公民館にて「みなとのパネル展」を開催します

東日本大震災から10年という節目を迎え、震災の教訓を忘れず次の世代へと語り継いでいくため、「みなと」での災害発生時から航路啓開、施設復旧完了までを改めて紹介するパネル展を鼠ヶ関公民館で開催いたします。

- 開催期間 令和3年3月1日（月）～ 3月12日（金）（土日を除く）
- 開催場所 鼠ヶ関公民館 展示スペース  
（鶴岡市鼠ヶ関丙150）※別紙地図参照
- 開催時間 8：30～17：00
- 展示内容
  - ・東日本大震災の記憶をいつまでも忘れない。  
（地震発生、津波来襲。一刻も早く。役割。復旧へ急げ。など）
  - ・青森県の港湾、岩手県の港湾、宮城県の港湾、福島県の港湾における被災状況、復興への貢献、復興・賑わいへの再興について 等々
- 主催
  - ・国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所
  - ・（一社）日本埋立浚渫協会 東北支部
- 備考
  - ・新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、マスク着用・ソーシャルディスタンスを保ちながらご覧ください。

発表記者会：酒田記者クラブ

【問い合わせ先】国土交通省 東北地方整備局 酒田港湾事務所  
電話：0234（33）6314  
企画調整課 早川・阿部・舘山

●会場位置図



出典：地理院地図に所在地等を追記して掲載

●展示するパネルのイメージ

### 東日本太平洋沿岸 巨大津波襲来。

観測史上最大の津波が沿岸地域を襲った。

東北地方を襲った巨津波、北海道・東北・関東地方太平洋沿岸に巨大津波が押し寄せた。沿岸部に到達した津波は、最大10m以上に達し、沿岸部の被害をもたらした。その後の調査で、海岸の地形や波の反射などによって実際の高さや到達時期、被害状況も異なっている。調査を深めたところ、津波到達直前に30cm以上を記録し、これは1994年の関東三陸沖の巨津波、長野県大町沖で記録された34cmを上回る、観測史上最大の記録となった。

津波の襲来		津波の襲上高	
八戸 (津波高) 9.2m	大畑 (津波高) 7.7m	宮古港 (津波高) 26.21m	野田 (津波高) 20.48m
大畑港 (津波高) 7.7m	野田 (津波高) 7.7m	大畑港 (津波高) 21.89m	野田 (津波高) 22.07m
野田 (津波高) 7.7m	野田 (津波高) 7.7m	野田 (津波高) 20.48m	野田 (津波高) 21.30m

### 3月23日(水)までに 主要10港、接岸可能。

被災3日後から、港湾内の障害物を取り除く航路啓開を開始。

3月13日夕刻の津波で被害を受けた、主要10港から陸に津波は、まずは進入予定コンテナヤードで、船舶の回収を行う作業が開始された。

船舶への支援を第一に、宮古港、野田港、そして東北最大の港湾である仙台港を優先して復旧。その後、3港以外の主要な港湾にも復旧が完了。被災3日後となる19日には、野田港に緊急復旧船が入港。23日までに緊急復旧で、緊急の復旧が完了。海上からの船舶輸送の再開が可能となった。

また、宮古港から11日と21日には、仙台港にそれぞれタンカーの緊急入港し、燃料を供給していた船舶が復旧された。

### 応急復旧により 海上物流回復。

被災港湾の取扱貨物量が、9月には対前年比70%まで回復。

電力供給に必要となる燃料、資材に欠かせない材料、設備をはじめとする復旧の基幹材料や部品など、被災への海上輸送は極めて多い。応急復旧などもコンテナ船で運ばれており、海上輸送は被災の生活や復旧に繋がっている。そのため、一方で早い復旧のペースに向け、早急に必要な資材の供給、被災から半年後の9月には、再開していた海上物流が回復した。